令和6年能登半島地震支援の実践報告(その1)

被災地の福祉ニーズについての一考察

東京社会福祉士会　災害福祉委員会
〇東早苗（6606）・熊倉千雅（3862）・長谷川真実（55465）

東京都災害派遣福祉チームの誕生
（DWAT：Disaster Welfare Assistance Team）

- 東京都災害福祉広域支援ネットワークとしての活動

- 2022/11/10　災害時の福祉応援職員派遣について考える研修会
- 2023/3　　➡参加者にDWAT登録依頼

- 2023/10/23　災害派遣福祉チーム員登録研修（半日）

- 2023/12/5～11東京都災害福祉広域支援ネットワーク連携訓練
  派遣調整シミュレーション訓練実施

東京都災害派遣福祉チームの設置目的

- 東京都内及び都外での大規模災害時において要配慮者の福祉ニーズに的確に対応し、必要な福祉的支援を行う東京都災害派遣福祉チーム（以下「東京DWAT」という）を編成し、一般避難所や福祉避難所（以下「避難所」という）社会福祉施設に派遣すること等により、必要な支援体制を確保することを目的とする。

「設置運営要綱」より

活動内容

●東京DWATは、以下の各号に掲げる活動に従事する。
必要に応じて、福祉専門職等の派遣調整等を行うネットワーク本部の業務にも従事する。

●（１）避難所における活動
・アセスメント
・食事・トイレ介助等の日常生活上の支援
・相談支援
・避難所内の環境整備
・活動状況の報告・本部等、都道府県との連携

●（２）社会福祉施設における活動

令和6年1月1日16:10能登半島地震発生

●1月10日　社会福祉施設等に対する応援職員の派遣に関する
調査実施依頼（東京都社会福祉協議会）

●1月16日　1.5次避難所に対する福祉人材の派遣について⇒
厚労省社会・援護局より日本社会福祉士会に対して

●東京DWAT派遣は3/１～３/28

能登半島
禄剛崎
上時国家
白米千枚田
聖域の岬
輪島
見附島
のと里山空港
總持寺祖院
穴水駅
(のと鉄道)
トトロ岩
ヤセの断崖
能登金剛
富来
巌門
和倉温泉
七尾駅
千里浜なぎさ
ドライブウェイ
氷見
雨晴
氷見駅
新高岡駅
富山空港
金沢駅
小松空港

門前モータースポーツ公園
協栄製材(株)
川住呉服店
輪島市立 諸岡公民館
輪島市門前ふるさと集いの館
輪島市立門前中学校
249
総持寺祖院
北國新聞 黒島販売所
輪島市立 黒島公民館
門前町鬼屋

対口支援で輪島市を支援することに

●四川大地震の教訓から、自治体がペアを組んで支援することに

●派遣前　zoomを利用して１時間のオリエンテーション、チーム員の顔合わせ

●地域リーダーは、岡山DWAT

●DWATの支援者の３原則「被災地中心・地元主体・協働」
　社会福祉士会では、「ソーシャルワークを基盤とした支援・被災地が主体となる支援・終了後を見据えた継続的な支援」

DWATのミッション（輪島市からの依頼事項）

- 「避難所」から「仮設住宅」など、被災者の生活の場が変わるフェーズに差し掛かっている。福祉支援や見守り支援につながらなかったために発生する「孤独死」等の悲劇を生じさせないために、避難所にいる段階から要配慮者を事前に把握し、市へ情報提供することで、被災者の生活の場が変わったとしても支援等が継続される環境づくりをDWATが支援していく。

活動先

- ３/1～16（第1～第4クール）⇒門前中学校（173名）
- 3/17～20（第5クール）⇒輪島市ふれあい健康センター（111名）
- ３/21～24（第6クール）⇒諸岡公民館(47名)
- ３/25～28（第7クール）⇒諸岡公民館・黒島公民館（20名）

活動内容

①避難者の相談受付
②巡回相談
③避難所内マッピング
④支援者会議への出席
⑤避難者の健康管理と日々の活動

DWATの1日の流れ

●朝5時～５時３０分起床

●６時３０分　レンタカーにて出発

●９時～９時３０分避難所到着

●９時３０分～１６時　相談等の避難所内活動

●１６時～１８時３０分　ホテルに移動

支援の壁・受援の壁

●感染症が怖くて、支援者を受け入れたくない。

●被災者の自立心を大切にしたい

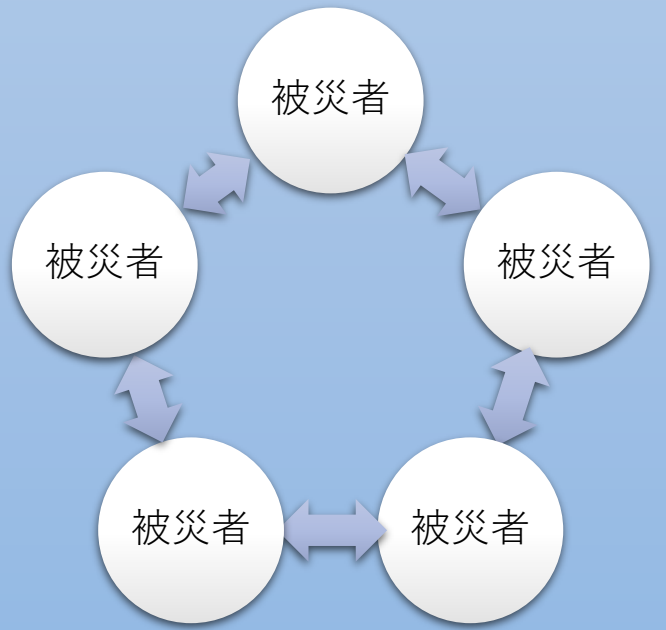
●避難所の管理者が、避難者を把握しているから支援は必要ない。

●今まで自分たちで頑張ってきた。これからも地域の人たちで助け合っていく。

行政からの支援
・DWAT

支援の壁・受援の壁

地域コミュニティ



被災者からの話

- 高齢で免許証を返納したら、買い物に行けず、避難所の支援物資をもらいに来た。
- 以前はスーパーが送迎バスを出していた時期もあったが、現在はそれもなくなった。
- 自分でできることは自分でやらないと、仮設住宅に移ったときに困るから
- 親の介護で能登に戻ってきたが、親も亡くなり、仕事も先細りで今後のことが心配
- 支援の人は、そこにいてくれるだけでいい。

福祉ニーズの聞き取り

- 今回のDWATの使命は、孤独死を防ぐためのマッピング
  ⇒単身の要配慮者は仮設住宅に入る順番を後にして避難所で
  見守りをした方が孤独死は防げるのではないか。

・お買い物など生活に必要なサービスの維持
  ⇒移動販売カーなどを利用できるようにできないか。

・在宅避難者からの福祉ニーズの聞き取りも必要

ご清聴ありがとうございました。